

みやこのあと まち歩きマップ

～宮跡東編～

Instagramで『#みやこのあと』をつけて、歩いた風景を投稿しよう♪

元日朝賀の儀式や外国使節との面会など、国のもっとも重要な儀式のために使われていたそう。

復原事業情報館
第一次大極殿院建造物復原整備工事について紹介しています。

幅74mある朱雀大路を一部再現。外国使節の送迎を行ったり、男女が恋の歌をかけあう「歌垣」などが行われたそう。

平城宮跡資料館
出土遺物や復元模型を展示しています。

平城宮跡歴史公園のシンボル。海のない奈良では珍しい船の展示。

平城天皇陵

第二次大極殿
恭仁宮、難波宮、紫香楽宮へと移った都が、再び平城宮に戻った745年に新設された大極殿の跡地。

みやと通り

平城宮いざない館
明治時代から大正時代にかけて、平城宮跡保存活動に取り組んだ先覚者。右手で第二次大極殿を指さし、左手に出土の軒丸瓦を持っています。

遺構展示館
遺構の発掘状況をそのまま保存・露出展示しています。

宇奈多理坐高御魂神社
『日本書紀』に新羅の調を奉られた五社のうちの二社として、伊勢神宮等と列記されている由緒ある神社。毎月1日・15日のみ参拝できます。

竹筒に入った小さなお地蔵さま。

石組の園池を中心とする奈良時代の庭園遺跡。復原建物の中から美しい庭園を眺めることができます。

コナベ古墳
全長204mの前方後円墳。乳白色の漆がユニーク。

航空自衛隊奈良基地
（幹部候補生学校）
朱雀門から徒歩約30分
※見学には事前の申請が必要

ウワナベ古墳
全長270m～280mを誇る、奈良市最大規模の前方後円墳。

ミニサイズの不動明王さま

海龍王寺
朱雀門から徒歩約25分

法華寺
朱雀門から徒歩約20分

東院庭園
朱雀門から徒歩約15分

法華寺
朱雀門から徒歩約20分

阿弥陀浄土院跡
光明皇后の追善供養が行われた、法華寺に所属する浄土系寺院。法華寺旧境内の南限にあたります。

花崗岩立石
（阿弥陀浄土院跡の庭石）
極楽浄土の世界を表現した「浄土庭園」の池にあった、奈良時代の景石といわれています。

お地蔵様

春日社
かつては海龍王寺の鎮守社だった神社。毎月1日・15日のみ参拝できます。

横苗地蔵菩薩堂

お二人並んだ和合地蔵さま。

国道24号

奈良市役所

奈良生駒線（大宮通り）

平城京左京三条二坊宮跡庭園

風景印のモチーフは法華寺の十一面観音立像とお守り犬とカキツバタ。

新講堂は建築家・隈研吾氏による設計。

奈良時代につくられた日本最初の公開図書館・芸亭について紹介する看板。

東二坊大路がクランク形状に折れ曲がっているのは、海龍王寺の前身寺院を避けた、奈良時代からの道路づけ。

法華寺の鳥居があったとされる場所に残っている梅檀（せんだん）の切り株。

待ち時間が「最短12秒」の押しボタン式信号機。

立派な軒丸瓦の付いた屋根が特徴のお地蔵さま。

不退寺
朱雀門から徒歩約45分

おすすめルート（復路）

聖武天皇陵・光明皇后陵
幼い頃から家族同様に育てられた聖武天皇と光明皇后は、陵墓も隣り合わせて祀られています。

うんてい芸亭 伝承地看板

一条高校前

一条高校

一条高校前

一条高校

一条高校

一条高校

一条高校

一条高校

一条高校

一条高校

ここは、都があった場所。
永い年月、数多くの物語が
積み重なった歴史の上を
あなたはいま歩いています。

- マークの説明
- スタンプラリーポイント
 - レンタサイクル
 - カフェ
 - 食事処
 - パン屋
 - バス停
 - トイレ
 - コンビニ
 - ホテル
 - 駐車場



みやこのあと まち歩きマップ

～宮跡東編～



スタンプラリー
シート付き

ここは、都があった場所。
永い年月、数多くの物語が
積み重なった歴史の上を
あなたはいま歩いています。

山折り



朱雀門（平城宮いざない館）



鳳凰（東院庭園）



お守り犬（法華寺）



海龍王（海龍王寺）



F-1 支援戦闘機（航空自衛隊バス停）



業平椿（不退寺）

※拝観料金が必要となるスタンプポイントが含まれます。

東院庭園

奈良時代、宴会や儀式を催した庭園を復原したのが東院庭園です。すぐ近くの平城京左京三条二坊宮跡庭園と並ぶ歴史的価値の高い庭園で、日本庭園のルーツともいわれ、国の特別名勝にも指定されています。平城宮の特徴の一つは、その形が正方形ではなく、東側に「出っ張り」があること。このエリアは続日本紀に「東院」として記されている場所にあたるといわれ、そのことから、昭和42年にここで発見された庭園跡を「東院庭園」と呼ぶようになりました。発掘調査の結果、東西80m×南北100mの敷地の中心に、「洲浜敷」と呼ばれる複雑な汀線の庭池が設けられ、その周囲に建物が配されていたことがわかりました。当時の貴族たちはここで、水面に浮かべた盃が目の前に流れてくるまでに詩歌を詠み、盃の酒を飲んで次へ流すという貴族の遊び「曲水の宴」に興じたそうです。

住所 奈良市法華寺町480（平城宮跡歴史公園東南部）
アクセス 平城宮いざない館より徒歩15分
公開時間 9:00～16:30（入場は16:00まで）
休館日 月曜日（月曜が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
入場料 無料



平城宮跡資料館
ホームページ

海龍王寺

奈良時代以前、野見宿祢を祖とする土師氏の氏寺を、平城遷都の際に藤原不比等が譲り受け、邸宅を構えます。不比等の没後、これを受け継いだ娘の光明皇后は、遣唐留学僧・玄昉が新しい仏法を無事に持ち帰ることを願い、寺院の伽藍を整備しました。帰国後、玄昉は内裏に近いこの寺院の住持に任じられます。旅の途中、嵐に襲われた玄昉が海龍王経を唱え難を逃れたことから、寺号も海龍王寺と改められました。このエピソードにちなみ、いまでも旅行や留学の安全を祈願するお寺として知られています。見どころは、創建当初からの建物である西金堂（重要文化財）と、堂内に安置されている天平時代建造の五重小塔（国宝）。また江戸時代に建てられた本堂には、鎌倉時代造立でご本尊の十一面観音立像（重要文化財）（※）が安置されています。春先には雪柳が境内一円に咲き乱れ、「花の寺」としても有名です。

※通常は戸帳越しの公開。毎年3月下旬～4月上旬、5月上旬、10月下旬～11月上旬の特別開帳等でのみ開帳。

住所 奈良市法華寺北町897
アクセス 奈良交通バス「法華寺」から徒歩すぐ
公開時間 9:00～16:30（特別公開時は9:00～17:00）
休館日 8月12日～17日、12月24日～31日はお寺の行事のため閉門
入場料 大人500円（特別公開時は別に料金設定あり）



海龍王寺
ホームページ

不退寺

平安時代初期、譲位後の平城天皇は「萱の御所」と呼ばれる御殿を平城京跡・北東エリアに建て、後にこれをその子・阿保親王と孫・在原業平が受け継ぎます。阿保親王の没後、業平自らが聖観音像を造立し祀ったのが不退寺の創建であるといわれ、別名「業平寺」とも呼ばれています。室町時代の建築である本堂には、ご本尊の聖観音菩薩立像が安置されています。藤原時代の桂材・一木造りの像は業平の作と伝えられ、宝冠帯が大きく特徴的なことから「リボンを着けた観音様」と親しまれています。また平安時代の五大明王像が五体揃っているのは全国的にも珍しく、奈良県で拝観できるのはここだけです。境内はレンギョウをはじめ、黄ショウブ、睡蓮などの花に彩られ、伊勢物語に恋多き人物として描かれた業平が、交わる二本の椿の枝を見て恋の成就を祈ったという「業平椿」(※) もご覧いただけます。 ※現在は二代目

住所 奈良市法蓮町517
アクセス 奈良交通バス「不退寺口」から徒歩3分
「一条高校前（不退寺口）」から徒歩5分
公開時間 9:00～17:00
休館日 無休
入場料 大人500円（特別展・業平は別に料金設定あり）



不退寺
ホームページ

航空自衛隊 奈良基地 （幹部候補生学校）

奈良基地は関西唯一の航空自衛隊の基地であり、また、基地内には航空自衛隊の幹部自衛官となるために必ず入校する全国唯一の学校があります。基地開設は昭和31年9月、翌32年に航空自衛隊幹部候補生学校が山口県・防府市から移駐し現在に至っています。平城宮跡北東のウワナベ古墳、コナベ古墳に挟まれる形で、多くの史跡に囲まれた環境に位置しており、敷地南側は平城宮特別保存地区にあたるため、正門をはじめ建物が瓦葺きとなっているのもその特徴です。基地見学には事前の申請が必要(※)ですが、桜の時期には基地内の花見を楽しめる他、資料館や歴代の戦闘機などを見学できる一般開放を予定しています。また、6月には幹部候補生による観閲式訓練展示の見学などができる「奈良基地祭」、8月末には総踊り（炭坑節・江州音頭・河内音頭）を中心とした「平城山納涼会」も開催され、地域からも親しまれています。

※見学についてのお問い合わせは、下記の奈良基地 HP をご覧ください。

住所 奈良市法華寺町1578
アクセス 奈良交通バス「航空自衛隊」から徒歩すぐ
見学 要事前申請



奈良基地
ホームページ

お祈りが根付いた文化のまち

ルートを歩いていると、そここの道端にお地藏さまが祀られているのを目にします。いつの時代のものかわからないものもありますが、それらは日本人にとって歴史を感じる最も身近な手がかりといえます。赤い前掛け、お供え物やお花、雨風をしのぐ祠など、隅々まで手入れの行き届いたその姿の向こう側には、いまでも昔も変わらない、地域コミュニティへの深い愛情が見て取れます。東院庭園北側の宇奈太理坐高御魂神社、海龍王寺南側の春日社は、それぞれ地域の方々が交代で管理をされている氏神様です。手を合わせる場所があちこちにある、そんなお祈りが根付いた文化を改めて感じられるのも、この地域の特徴のひとつです。



発行者 平城宮跡歴史公園 平城宮跡管理センター
〒630-8012 奈良県奈良市二条大路南三丁目5番1号
TEL：0742-36-8780 / FAX：0742-36-8781
発行日 令和五年三月十日（第四刷）

掲載内容は令和五年三月現在のものです。
発行後、掲載情報に変更がある場合もありますのでご了承ください。
無断で複写・転載することはご遠慮ください。



平城宮跡歴史公園
ホームページ